

(別紙の2)

自己評価及び外部評価票

※「自己評価の実施状況(太枠囲み部分)」に記入をお願いします。[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	会社理念「コミュニケーション」と「生活リハビリ」施設目標「個人のできる事を尊重し日常生活に生かせる場所にします。」を掲げて共有と実践をしています。	理念について新任職員は研修に位置づけられ、職員は会議や日々の介護の中で共有しています。一日の始まりの起床から理念の「コミュニケーション」「生活リハビリ」に心掛け、着替え・車いすから椅子に座る等、出来ることをやっていただくように話しかけながら見守っています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	昨年までは地域の子供たちのラジオ体操に場所を提供したり、夏祭りや文化祭に参加していましたが、今年はコロナウイルスの影響で様々な集まりが行われなくなりました。	毎年、夏休みの子供達のラジオ体操・納涼祭・地域のお祭り・防災訓練への参加等、地域との交流をしていました。また近隣から野菜もいただいています。今年は感染症予防のためほとんどの行事が中止になりました	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	昨年までは、短大生の職場実習の受け入れなど行なっていましたが、今年度はまだ再開されていません。今年は、地域の方が散歩の折り、窓越しに挨拶される程度です。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、その意見をサービス向上に活かしている。	利用者の状況、サービス提供、健康状況、苦情、事故状況、収支報告等を報告しています。今年度初回は書面にて状況を郵送し、回答、意見を頂きました。	会議には入居者・家族等の参加があり当事者の意見を直接聞くことが出来ています。事業所の活動状況・収支報告・運営上の課題等の議題に対して具体的な意見を貰いサービスの向上に活かしています。現在、感染症予防に配慮し、現状等の報告を送り、書面で意見を寄せて貰っています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協係を築くよう取り組んでいる。	二か月に一度の運営推進会議に地域包括支援センターのCMさんに出席してもらっています。又、代表者が市町村担当者のもとに度々出向いています。	運営推進会議で地域包括支援センターの職員から市の情報を得ており、事業所の実情を知ってもらう等連携が出来ています。また、代表者が度々市の担当者のところへ出向いて情報のやり取りや助言を得ています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	社内研修やミーティング通じ、身体拘束の具体的な行為を理解し、実践しています。	身体拘束廃止適正化委員会を組織し3か月に1回全体会議で全職員で研修をしています。事例を出して説明し、研修の後は必ず振り返りを行い、運営推進会議で研修の様子を報告しています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	社内研修やミーティングを通じ、虐待の具体的な行為・関連法を理解し、実践しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	現在、成年後見制度を利用している利用者はいませんが、社内研修を通して理解し、共有しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居前には見学して頂き、理解・納得して頂いて契約できております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議を通じて利用者代表の方などに参加いただき、意見等頂いています。又、家族の訪問が多い為、個々に随時意見、要望等受け入れています。	事業所からバイタルチェックをした1カ月の記録と利用者満足のアンケートを毎月送付し、自由記載の欄を設け意見・要望を寄せてもらい運営に反映しています。日常的に手紙や電話で意向を知らせてくれる家族もいます。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月に一度、開設者が参加する全体会議を行い、意見等出し合い、話し合う場を設けています。又、個々に代表者に相談が出来る環境にあります。	開設者・管理者は全体会議で職員の意見や提案を聞き、日常の業務の中でも聞いて事業所の運営やサービスの向上に活かしています。また組織の代表は年1回、個人面接を行い職員の意見・要望を聞いています。必要に応じてそれぞれの事業所で意見の反映をしています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	努めていると理解しています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	8月より職員の異動がありました。認知症実践者研修の受講を予定しています。又、管理者研修を外部から講師を迎え行いました。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	新規に開所する施設があり、入居者との面会を通じ訪問させて頂き、他施設の状況を見学させて頂きました。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入所前には本人との面談を行い、不安や要望をお聞きし、見学して頂いてから入所して頂いています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入所前にご家族との面談を行い、不安なこと、要望等をお聞きしスムーズに入所して頂いています。信頼関係も時間の経過とともに出来ています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	アセスメントを行い、入居前のCMさんと連絡を取り相談させていただいています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	日常の家事(洗濯物干し、たたみ、掃除)等一緒に行いながら家族のような関係に少しでも近づける様にしています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	常日頃から連絡を取りながら、ともに支えていく関係は築けています。電話や手紙で直接ご家族に要望を伝える方もいます。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	昔からのかかりつけ医に受診をしている方、管内から時々面会に来られる方、又、ご家族も開所から7年が経過しますが、月に一度は連絡や面会に来られる方が殆どです。	ほとんどの家族が月1回は必ず面会に来て、馴染みの話をしていました。今年は感染症予防で出来ません。友人から電話や手紙が来たり家族からの電話・手紙があります。誕生日には馴染みの場所へドライブしています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者同士が関われるテーブルの配置を行い、コミュニケーションが取れる様にしています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	常時医療の見守りが必要となった利用者のご家族からの相談で、老人ホーム・療養型医療施設への入所のお手伝いを行いました。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	外出の希望がありましたが、今年度はコロナウイルスの影響で希望に添えておりません。施設内で食べたいものを聞きお弁当にしたり、納涼祭を行ったりしました。	会話が出来る利用者が多いのでケアプランの立案時に暮らし方の希望を語ってもらい話し合いながら立てることが出来ています。「思い」を出し易いようにコミュニケーションに工夫をしています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入所前に面談を行い、今までの生活歴や生活環境、グループホームの入所に至る経緯の把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	毎朝バイタル測定を行い、利用者の健康管理には留意しています。バイタルの様子で入浴等職員間で情報の共有が出来ています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	日常生活の中での問題点を、担当職員を中心に話し合い介護計画に反映しています。	それぞれの担当者は日常的に利用者が何をしたいか等の意向や課題を会話等のコミュニケーションを通して把握しています。介護計画やモニタリングは利用者・家族・担当者を交えて話し合いながら作成し全体会議で共有しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	ほのぼのシステムの個人ケース、日々の様子を記録して職員間で情報の共有を図り、介護計画の見直しに活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	歩行不安定な利用者の歩行を当事業所内の理学療法士に見てもらい、リハビリの指導を受け行っています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	昨年までは地域の行事に参加したり、中学校の文化祭に参加しましたが、今年度は中止されており参加できていません。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	かかりつけ医に受診、往診を受けています。急変時や日々の中で異常があれば連絡を取り対応しています。訪問歯科の利用もあります。	利用者一人ひとりのかかりつけ医があり、家族が受診に付き添い、緊急時には職員が付き添います。事業所の嘱託医は月に1回事業所全体の健康管理の助言をしています。歯科の往診もあります。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	介護職の日々の関わりの中で気付き等は、その都度社内の看護師に連絡を取り、相談が出来る体制になっています。体調異常時には看護師が来て医師に連絡を行います。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院担当者と連絡を取り合い情報交換は出来ています。入院時のカンファレンスには参加出来ています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	施設での生活が困難な場合は家族との話し合いは十分に行えています。	契約時に家族と話し合いをし医療行為が必要になったときには事業所が連携している系列の関連施設を紹介する等利用者が困らないように措置を講じています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時マニュアルに沿って対応は出来ています。救急救命訓練を毎年行っています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	土砂災害・消火避難訓練は実施しています。運営推進会議を通じて民生委員、地区の組長さんに来て頂き協力をお願いしました。	資料を使い火災について夜間のイメージトレーニングをやり、大雨・土砂災害等種々の避難訓練を実施しています。発電機を備え非常時に召集する職員も決め、地域の協力も得ています。危険視される土石流からの避難確保計画も立てられています。	非常時は行政からの避難情報が遅れる可能性もあります。今後、ぜひ検討中の事業所の天気予報から推測する独自の避難計画を実現可能にすることを期待します。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	研修を行い、社内での接遇委員を中心に声掛けや方法について検討しています。	系列の事業所全体で接遇委員会を組織しプライバシー・身だしなみ・言葉等について研修をしています。特に言葉には気を付け、決めつけず答えを選択できるようにしています。トイレ・入浴時は自立の利用者も多いのでプライバシーに配慮して、安全に見守ることを心掛けています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日々の細かいことから自己決定できるように働きかけています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	ご家族の協力のもと行きつけのお店に出掛けたり、美容院に出掛けたりしていますが、今年は少なくなっています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	朝晩のパジャマの着替えを行い、生活にけじめをつけています。洋服を自分で選んで着ている方もいます。美容師の訪問も利用しています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	畑に野菜を取りに行き、取った野菜を洗ってもらったり、皮を剥くなど出来る事はしてもらいメニューに取り入れています。お誕生日者には希望メニューを取り入れています。	コロナ禍の以前は職員と食材を買い出しに行ったり、移動販売車で買ったりして楽しんでいました。今は、稲荷寿司を詰めたり・五平餅を作ったり・おはぎを作り・ぬかみそ漬け・干し柿等室内で出来る楽しみを提供しています	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	メニューは栄養士の立てた献立を参考にアドバイスをもらったりバランスを考えて行っています。水分量は午前、午後のお茶の時間を設けるなど確保しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中での汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	社内の歯科衛生士と相談しながら、その人にあった歯ブラシや方法を行っています。週二回は義歯洗浄剤を使用して汚れ防止を行っています。食後三回は口腔ケアを行っています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている。	排泄表を記入し排便の様子も見ています。夜間は歩行状態に応じてポータブルトイレを使用している方もいます。	自立の利用者や布パンツ・パット等の利用者が多く、排泄パターンを把握し声掛けをして出来るだけおむつ使用に至らないように努めています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	体操を毎日行い体を動かし、水分摂取にも注意しています。野菜の摂取も心掛けていますが、中々便秘の改善には繋がっていません。状況に応じて整腸剤を使用しています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている。	週4回お風呂を用意して入って頂けるようにしています。	週4回午後、自由な時間に入浴できるように準備しています。入浴を拒否する利用者は無く、それぞれの利用者のペースに合わせて楽しんでいます。季節によって、しょうぶ湯・りんご風呂・ゆず湯等で楽しんでいます。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	目安の時間は設けています。それぞれの生活パターンや自主性を尊重し遅くまで起きていたり、しっかり昼寝をする方など、ここでの生活ペースが出来ています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	服薬の管理は出来ています。その日の状態の変化は共有し対応しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	居室でテレビを視聴したり、家族の差し入れを居室で食べてもらったりと個々の時間も大切にしています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している。	昨年までは花見や足湯など「行きたい。」を取り入れ外出していましたが、今年度は外出を自粛しております。そんな中でも、ドライブだけでもと計画しています。天気の良い日には施設の周りを散歩しています。	盆・正月の帰省や墓参り・外食・外出等は多くの家族が行ってくれています。花見・紅葉狩り・学校の音楽会や文化祭の見学等と希望を聞きながら外出の支援してきました。今年度は感染症予防のため自粛し、ドライブや近くへの散歩等を行っています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	自己管理の方がいますが、今年度は買い物に出かけていません。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	県外に住む息子さんに手紙を書かれたり、娘さんから手紙や年賀状が届いたりしています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ホール共有スペースに季節感の分かるものや花を飾るなどしています。又、今日が何日かわかるよう大きなカレンダーを掛けています。	玄関に季節の花が生けられ、リビングには故郷の季節を感じられる柿の写真・廊下には花等の静物を描いた油絵が飾られ落ち着いた生活空間になっています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	気の合った者同士ゲームやパズルをしたり、テレビを観たり思い思いの時間を過ごしています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	本人の使用していた使い慣れた寝具や家具を出来る限り持ち込んでもらっています。ご家族の写真なども飾られています。	ベットや家具は自分の使い慣れたものを持ち込んでいます。机・物入れ(筆筒)も好みの柄で楽しむ居心地よく過ごせる居室になっています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	建物は機能的な作りでトイレや浴室、居室がわかりやすい設計にしています。又、居室は名札や花の名前にするなど工夫しています。		